

青少年育成委員会年間事業計画(案)

●委員会基本方針

我々は会員一人ひとりが高い目標を持ち、やりがいのある企画・事業をし、個人の創造力とチームワークの強みを最大限に高めながら、次代を担う青少年の育成を図るため、高槻・島本に根ざした活動を行い、地域と組織のさらなる発展につながるよう努めていきます。

●事業計画

- | | |
|-------------------|--------|
| 1 子供と大人への双方支援教育事業 | 6月～10月 |
| 2 わんぱく相撲の企画・実施 | 5月(中止) |
| 3 例会・LDタイムの企画・実施 | 7月 |



●定例委員会開催日
第2水曜日

委員長

松村 圭一郎

副委員長

奥田 裕志
佐藤 淳史

運営幹事

國友 拓哉

会計幹事

齊藤 雄太

委員

須磨 広行
福村 来樹
山本 達也

●その他の活動概要・出向など

出向者への積極的支援	委員会全体	このほりフェスタ1000へ主体的に参画する	委員会全体
理事会から付託された事項	委員会全体	会員拡大へ主体的に取り組む	委員会全体
地域交流委員会が窓口となる各団体の事業へ主体的に協力・参加する	委員会全体	高槻市緑化推進連絡会へ出向	齊藤 雄太

●委員長所信

現代の日本は少子高齢化、グローバル化、高度情報化、新しい生活様式と様々な課題に直面し、次々と訪れる変化の波にどう生き抜いていけばいいのか模索していかねばならない時代になっています。正解というものが存在しない不透明な時代だからこそ、「生き抜く力」・「対応力」とは何かを各々が考え、その力をつけるために、家庭・地域が共に次世代の担う子どもたちを育成できる環境を構築していく必要があります。

まずは、ライフスタイルの多様化などによって感じる、しつけや教育についての不安を払拭するために、家庭・地域・社会が全体で子育てを行い、時代に合った子育てについての気付きを得る機会を提供します。そして、個々の考えに囚われないために、コミュニケーションがとれる子育てを知る機会を創出し、時代に合った子育て支援を行う地域・社会の環境を構築します。さらに、一人ひとりがアイデンティティの基礎を確立するために、日本の伝統的スポーツ競技である相撲を通じて、単なるスポーツ競技ではなく、伝統精神・文化などの理解を深める機会として提供し、直接体験による勝敗により、他者を理解することで自己を知ることにつながります。また、予測困難な時代を生き抜く力を身につけるために、子どもの視点に立ち大人からは見えない問題や疑問を今期的な関心から改めて一緒に確認し合い、今後の課題の理解を構築していきます。そして、柔軟性を持って問題解決に対応していくために、答えのない時代の教育について、知る機会を提供し、広い視野を身につけ答えのない教育を創出する力を育みます。

当委員会は年間を通して、家庭・地域に学ぶべきことを見つけ、時代の流れに対応したサポートをし、シェアド・リーダーシップを取って、委員会運営を行い、利他で物事を考え、ミッションに立ち返り、さらなる明るい豊かな高槻・島本を実現します。

担当常任理事

川端 康寛

副理事長

紙村 幸秀

委員会年間予算

430,340 円

●委員会年間スケジュール

	上程内容	行 事 (主たる担いは青色)		上程スケジュール	行 事 (主たる担いは青色)
2020年	10月	協議 年間事業計画		6月	審議 7月例会・LDタイム 審議 子どもと大人への双方支援教育事業
	11月	協議 年間事業計画 協議 3月教育事業		7月	審議 わんぱく相撲 事業報告 審議 7月例会・LDタイム
	12月	審議 年間事業計画 協議 3月教育事業		8月	臨時社員総会 高槻まつり 子供と大人への双方支援教育事業
2021年	1月	審議 年間事業計画 審議 3月教育事業 協議 わんぱく相撲	定時社員総会 新年互礼会 京都会議	9月	審議 7月例会・LDタイム 事業報告 例会・LDタイム 大阪ブロック大会 子供と大人への双方支援教育事業
	2月	協議 わんぱく相撲 審議 3月教育事業	例会・LDタイム シニア総会	10月	3LOM合同例会 全国大会 子供と大人への双方支援教育事業
	3月	審議 わんぱく相撲	例会・LDタイム	11月	例会・LDタイム JCI世界会議
	4月	協議 7月例会・LDタイム	例会・LDタイム	12月	審議 子どもと大人への双方支援教育事業事業報告 卒業式 会員大会
	5月	協議 7月例会・LDタイム 協議 子どもと大人への双方支援教育事業	8LOM合同例会 わんぱく相撲 みどりのカーニバル	2022年 1月	